



国立気象局



気象安全 障害者

災害発生後の具体的なニーズがあるかもしれません。
今すぐ準備する時間をとってください。

お薬のために

- ➡ 診断に関する情報、正確な薬名、服用量、薬局の連絡先、医師の名前を含むすべての薬のリストを保管してください。
- ➡ 薬を冷やす必要がある場合は、クーラー、アイスパック、および / または携帯用発電機を緊急キットに入れてください。
- ➡ 痛みや解熱剤などの非処方薬の追加供給を維持してください。

身体障害者向け

- ➡ 電動車椅子を使用する場合は、可能であればバックアップとして軽量の手動椅子を用意してください。電動車椅子用の予備バッテリーを用意してください。
- ➡ 他の人に車椅子の扱い方を教えてください。
- ➡ 杖や歩行器などの余分なモビリティ デバイスを使用する場合は、そのデバイスを保管してください。
- ➡ 必要に応じて、避難所への移動を手伝ってくれる近所の人とコミュニケーションをとってください。

聴覚障害者または難聴者向け

- ➡ 補聴器または人工内耳のために余分なバッテリーを保管してください。
- ➡ ASL を知らない人とコミュニケーションをとる必要がある場合に備えて、ペンと紙を保管してください。
- ➡ ランタンや懐中電灯は、ASL の読み取りや暗いときの唇の読み取りに役立ちます。



国立気象局



視覚障害者または低視力者向け

- ➡ 非常持出袋に入れる物資のラベルには、点字や大きな活字を使いましょう。
- ➡ 点字や盲ろう者用通信機器などのコミュニケーション機器を非常持ち出し品の一部として持っておく。

言語障害者向け

- ➡ 通信機器やその他の支援技術を使用している場合は、その機器の型番と出所に関する情報を保管しておく。機器を紛失したり壊れたりした場合、どのように交換しますか？
- ➡ ラミネート加工されたカードに単語やフレーズ、ピクトグラムなどを入れておくと、通信機器を紛失したり壊れたりしたときに、他の人のコミュニケーションに役立ちます。

知的障害または発達障害のある人向け

- ➡ 聴覚刺激を減らすために、ノイズキャンセリングヘッドホンのペアを検討してください。
- ➡ ハンドヘルドの電子デバイスにビデオやその他のアクティビティを充電およびロードしておいてください。予備の充電器を用意してください。
- ➡ 快適なおやつが用意されています。
- ➡ シート、毛布、または小さなポップアップテントを緊急キットに入れて、ビジールームでの視覚的刺激を軽減したりプライバシーを保護します。

アルツハイマー病または認知症の人向け

- ➡ その人を一人にしないでください。アルツハイマー病や認知症の人は、特に不慣れな環境や状況の中をさまようことがあります。
- ➡ 外出時の環境の変化を管理するために、救急箱に快適なアイテムを含めます。
- ➡ コミュニティシェルターにいる場合は、出口から離れて静かなコーナーを選択してください。

その他のヒントについては、ready.gov/ja/disabilityをご覧ください

